

避難行動の注意

風水害の情報として、「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示(緊急)」が、平塚市から発令されます。市から初期段階の「避難準備・高齢者等避難開始」発令を受けて、自治会は会員に発令の情報を電話で伝達します。(参照：防災ニュース第4号)

<避難する時の注意>

(内閣府広報「ぼうさい」、内閣府防災担当「避難勧告等の判断伝達マニュアル作成ガイドライン」・他)

- * 避難情報が発令されていなくても、身の危険を感じた場合には、あらかじめ決めておいた避難行動をとり、早めに避難しましょう。
最新の情報を得て、「自分の身は自分で守る」との考えです。
- * 寺田縄地域の避難所は「金田小学校」です。避難所へ避難する時は、1人ではなく複数の人と避難するようにしましょう。また、避難することを近隣の家伝えましょう。
- * 平常時に、風雨が強い時を想定した小学校への安全な避難経路を確認しておきましょう。
- * 金田小学校の避難所に避難する時は、雨・風が強く歩行に困難をきたす事も考えられます。
- * 屋外へ避難する場合は長靴を履くことは危険なこともあり、勧められません。持ち物はリュックに入れて、両手が使えるようにしましょう。
- * 万一、水の中を歩かねばならない時には、側溝や、マンホール、農業用の用・排水路などに落ち込まないように、足元には十分注意して歩きましょう。
- * 道路に水が流れている状況下では、徒歩で避難することは大きな危険を伴います。
- * 水の深さがひざ上まである時などは、無理して避難所に行くのではなく、近隣の頑丈な建物の2階以上、それも難しい時には、自宅の2階以上に避難する方が安全な場合があります。

- 常に、最新の情報をキャッチしよう
- 会長からの伝達は、途切れることなく、つないで行こう
- まだ大丈夫ではなく、早めの準備、早めの避難を心がけよう
- 近隣で、声かけ合い、助け合い、協力し合って避難をしよう

台風は発生と同時に襲来することはありません。進路予想、規模などの最新情報の把握に努め、直撃が予想される時には、身を守るために、早めに避難行動をとらねばなりません。

「情報は、伝えられるのを待つのではなく、自ら取りに行く」ことが大切です。

<文責：寺田縄防災検討会代表 片山興大>